Creative Enzymes®

ネイティブバチルス・リケニフォルミスプロテイナーゼ

Cat. No. NATE-0639

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	プロテイナーゼはペプチド結合の加水分解によってタンパク質を分解します。プロテアーゼは、フェニルメチルスルホニルフルオリド（PMSF）やジイソプロピルフルオロリン酸などのセリン活性部位阻害剤によって不活性化されます。
用途	Creative Enzymesの酵素は、ラット心臓の均質化された心室組織からすべてのミトコンドリア集□の放出を最適化するために使用されました。また、ヒトおよびウイルスDNAを□出するために、ホルマリン固定されたパラフィン埋め込み肝臓標本の前ハイブリダイゼーション処理にも使用されています。これは、Bacillus licheniformisの発酵から分離されたプロテオリティック酵素です。これは、天然および□性タンパク質に□して広い特異性を持つセリンエンドプロテイナーゼであり、アルカリ条件下で活性です。この製品はSubtilisin Carlsbergとしても知られ、心筋細胞を加水分解して心筋ミトコンドリアNHE1のサイレンシングを研究するために使用されています。
別名	プロテアーゼ; ペプチダーゼ; プロテイナーゼ; EC 3.4.21.62; 9014-01-1; アルカリプロテアーゼ; バチルス・リケニフォルミス由来プロテアーゼ; バチルス・リケニフォルミス由来プロテイナーゼ; サブチリペプチダーゼ A

製品情報

由来	バチルス・リケニフォルミス
形態	凍結乾燥粉末
EC番号	EC 3.4.21.62
CAS登□番号	9001-92-7
分子量	27 KDa
純度	結晶化
活性	7.0-14.0 ユニット/mg 固体
特異性	サブチリシンAは、セリンS8エンドプロテイナーゼファミリーの一員です。P1位置において大きな無電荷残基を好む広い特異性を持っています。天然および□性タンパク質を加水分解し、アルカリ条件下で活性を示します。
単位定義	1ユニットは、pH 7.5、37°Cでカゼインを加水分解し、1分あたり1.0 μmole（181 μg）のチロシンに相当する色を生成します（Folin-Ciocalteu試□による色）。

保管・発送情報

保存方法	−20°C